

町屋幼稚園・第七峡田小学校版 5歳児から小学校低学年までを連続した時期として捉えた指導計画（第2学年 算数）

記述例	1学期		2学期		3学期
	1期	2期	3期	4期	5期
<p>知…知識及び技能</p> <p>思…思考力、判断力、表現力等</p> <p>学…学びに向かう力、人間性等</p> <p>○ここまで身に付けておきたい資質・能力</p> <p>○この期で身に付けさせたい資質・能力</p>	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ○簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりする。[CG] ○繰り上がりのあるたし算や繰り下がりのあるひき算の計算をする。[CB] ○長さや測定についての基礎的な意味を理解する。[CF] <p>○簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりする。[CG]</p> <p>○2位数の加法や減法の筆算の計算ができる。[CB]</p> <p>○単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する。[CF]</p> <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> ○簡単な絵や図を用いてデータの個数を表す。[CN] ○繰り上がりのある加法や繰り下がりのある減法について、計算の仕方を操作や図を用いて考える。[CJ] <p>○データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察する。[CN]</p> <p>○2位数の加法や減法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現する。[CJ]</p>	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解する。[CA] ○体積についての基礎的な意味を理解する。[CE] <p>○1000までの数についてその意味や表し方を理解する。[CA]</p> <p>○体積について単位と測定の意味や、単位の関係を理解する。[CE]</p> <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> ○10を単位として数を捉える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える。[CL] ○身の回りにあるもの体積について任意単位などにより比較する。[CM] <p>○10や100のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現する。[CL]</p> <p>○長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する。[CM]</p>	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2位数の加法や減法の筆算の計算をする。[CB] ○平面図形の特徴を捉え、平面図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにする。[CD] <p>○2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方について理解する。[CB]</p> <p>○三角形、四角形などの構成要素を捉えそれらの意味や性質を理解する。[CD]</p> <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2位数の加法や減法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現する。[CJ] ○平面図形の形に着目して特徴を捉えたり、構成や分解を考えたりする。[CK] <p>○数の仕組みに着目し、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考え表現する。[CJ]</p> <p>○辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見いだす。[CK]</p>	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個数の比べ方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解する。[CA, CC] ○くり上がりのあるたし算をする。[CB, CC] <p>○乗法が用いられる場合や乗法九九について知り、乗法の意味や乗法に関して成り立つ性質を理解する。[CC]</p> <p>○乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九を構成したりする。[CC]</p> <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> ○数の大きさの比べ方や数え方を考え言葉やブロックなどを用いて表現する。[CJ, CL] ○加法の場面を式に表し、計算の仕方を考え数の構成や操作などを用いて考え表現する。[CJ] <p>○数量の関係に着目し、累加の考えや乗数と積の関係などを基に、乗法九九の構成の仕方を考え表現する。[CJ]</p> <p>○乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、乗法九九の構成の仕方を考え工夫し表現する。[CJ]</p>	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1000までの数についてその意味や表し方を理解する。[CA] ○順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面も加減の式に表せることを理解する。[CB] <p>○10000までの数についてその意味や表し方を理解する。[CA]</p> <p>○加法と減法の相互関係について理解し、加法と減法の相互関係を表した図を用いて、図や式に表す。[CB]</p> <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> ○10や100のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現する。[CL] ○図形の特徴や機能を捉えたり、構成や分解をしたりして、表現する。[CK] <p>○数の概念について理解を深め、図や式を用いて考える。[CJ]</p> <p>○頂点、辺、面などの図形を構成する要素に着目し、箱の形の特徴を見いだす。[CK]</p>
	<p>学</p> <p>○構成、分解、数の構成や操作、比較の方法を工夫して考えた過程を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとする。[CO]</p>				
	<p>○表やグラフを用いて数学的に表現、処理したことや、図や式などを用いて考えたこと、10や100のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする。[CO]</p>	<p>○計算法則、数の見方や構成を活用して考えたことや図や式などを用いて考えたこと、身の回りにあるものの形を図形として捉え、数学的に表現・処理したこと、乗法のよさやその成り立つ性質などを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする。[CO]</p>	<p>○図や式などを用いて考えたこと、100や1000のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする。[CO]</p>		
TT指導	グラフとひょう	3けたの数、水のかさのたんい	長方形と正方形		4けたの数、はこの形
少人数指導	たし算のひっ算、ひき算のひっ算	時ごとと時間	たし算とひき算のひっ算	かけ算(1)、かけ算(2)	たし算とひき算
ななはけラボの活用	長さのたんい		長方形と正方形	かけ算(1)	長いものの長さのたんい、はこの形

この期における主な単元において取り入れたい、取り入れると有効であると考えられる指導方法や学習環境を記載

※学級での一斉指導で行う単元名については本表に記載していない。